

豊田市避難所運営マニュアル

別冊

新型コロナウイルス感染症流行下における
避難所運営の手引

令和2年12月改訂版

豊田市

本手引について

新型コロナウイルス感染症の流行は、未だ終息が見えない状況が続いています。こうした状況下において、従来どおりの方法で避難所を開設・運営すると、避難所内で集団感染の発生を招くおそれがあります。

本手引は、「豊田市避難所運営マニュアル」に付随し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために必要な対策や動きをまとめたものです。

避難所運営の基本的な体制は、「豊田市避難所運営マニュアル」をベースとしつつ、新型コロナウイルス感染症流行下においては、本手引を活用し、感染症対策に配慮した運営を行っていただくようお願いします。

なお、本手引は、新型コロナウイルス感染症の新たな知見等を踏まえて、より実効性を高められるよう随時見直しを行います。

目次

避難所の感染症対策用物品	2
避難所開設時の対応	3
受付・健康チェック時の対応	4
一般の避難者への対応	6
体調不良者への対応	7
車中泊希望者への対応	9
避難スペースのレイアウトについて	10
清掃・消毒について	11
参考資料	
①避難スペースレイアウト様式	12
②健康チェックリスト	13
③避難者名簿記入例	14
④避難スペースレイアウト案	15
⑤段ボール間仕切り組み立て方法	16
⑥段ボールベッド組み立て方法	17
⑦キャンプ用テントの組み立て方法	18
⑧段ボールを使ったパーティション等の作り方	19
⑨その他の掲示用チラシ	24

避難所の感染症対策用物品

全ての避難所に、以下の感染症対策用物品を備蓄。

品目	数量	備考
非接触型体温計	1 個	避難者検温用
マスク	1,500 枚	避難者用
消毒液	10.4 ㍓	避難者消毒用・新型次亜塩素酸ナトリウム単一製剤 次亜塩素酸ナトリウム 200PPm 希釈不要
消毒液用ボトル	2 本	避難者消毒用
除菌シート	100 袋	避難者消毒用
フェイスシールド	30 枚	避難所運営担当者用（受付、誘導、健康管理を行う者）
レインコート	4 着	感染防止衣として
感染防止衣セット	10 組	避難所運営担当者用
ゴム手袋	1,000 枚	避難所運営担当者用
ゴミ袋	100 枚	避難所運営用
掲示用チラシ	3 枚	手洗い・咳エチケット啓発用

補助物品（密集・密接回避のためのゾーニング等で用いるもの）

品目	数量	備考
養生テープ	2 巻	ゾーニング、チラシ等貼付用
スケール	1 個	ゾーニング、距離計測用
ポリ袋	300 枚	衣類、靴等収納用
マットレス	6 枚	市全体で 1,000 枚備蓄 必要に応じて輸送
アルミござ	30 枚	市全体で 4,400 枚程度を備蓄 必要に応じて輸送
毛布	20 枚	市全体で 24,500 枚程度を備蓄 必要に応じて輸送
エアーマット	0 枚	市全体で 1,300 枚程度を備蓄 必要に応じて輸送
キャンプ用テント	0 基	市全体で 150 基程度を備蓄 必要に応じて輸送
段ボール間仕切り	0 室	市全体で 1,600 室程度を備蓄 必要に応じて輸送
段ボールベッド	0 台	市全体で 500 台程度を備蓄 必要に応じて輸送
更衣室	0 台	市全体で 110 室程度を備蓄 必要に応じて輸送

※数量は避難所一か所あたりの備蓄数を記載

※避難所によっては、保管スペースの規模の都合上、上記と数量が異なる場合があります。

避難所開設時の対応

まずは、避難所運営に携わるみなさん自身の体調管理と感染症防止にくれぐれも配慮してください。

限られた物資や施設環境の中での運営となるため、本手引に記載のとおり行えない場合は、新型コロナウイルス感染症に関する一般的な知見に基づき、臨機応変に判断いただくようお願いします。

1 避難所運営担当者の感染予防対策の徹底

- 避難所の運営に携わる者は、業務開始前に自身の体温の計測をはじめ、体調のチェックを実施する。
- 避難所開設中は、定期的な体温測定や体調の把握、消毒の適宜実施等、感染症予防に努める。
 - ※避難所閉鎖後も体温の測定や体調チェックは定期的実施する。
- 受付業務を開始する前に感染症対策用物品による消毒、着装を徹底する。

- ・マスク ・次亜塩素酸消毒液 ・フェイスシールド ・レインコート
 - ・感染防止衣 ・ゴム手袋
- 着装用の物品は数量が限られるため、運営に携わる者同士で物品を交互に用いる場合は、都度消毒を行う。

2 避難スペースの事前準備

- 避難スペース内の窓を開けるなどし、空気が滞留しないようにする。
 - ※対角線上にある窓を2か所開けるとより効果的。
- 避難スペース内に、手洗い・咳エチケット徹底の啓発チラシを貼付する。
- 12ページの『避難スペースレイアウト様式』を活用し、避難スペースを区画分けし、受付担当者用と掲示用の2部を作成し、掲示用のものは避難スペースの入口付近に貼付する。
- 高齢者や障がい者などの要配慮者用に、なるべく環境の良いスペース（身動きがとりやすい、トイレに近いなど）を確保しておく。

受付・健康チェック時の対応

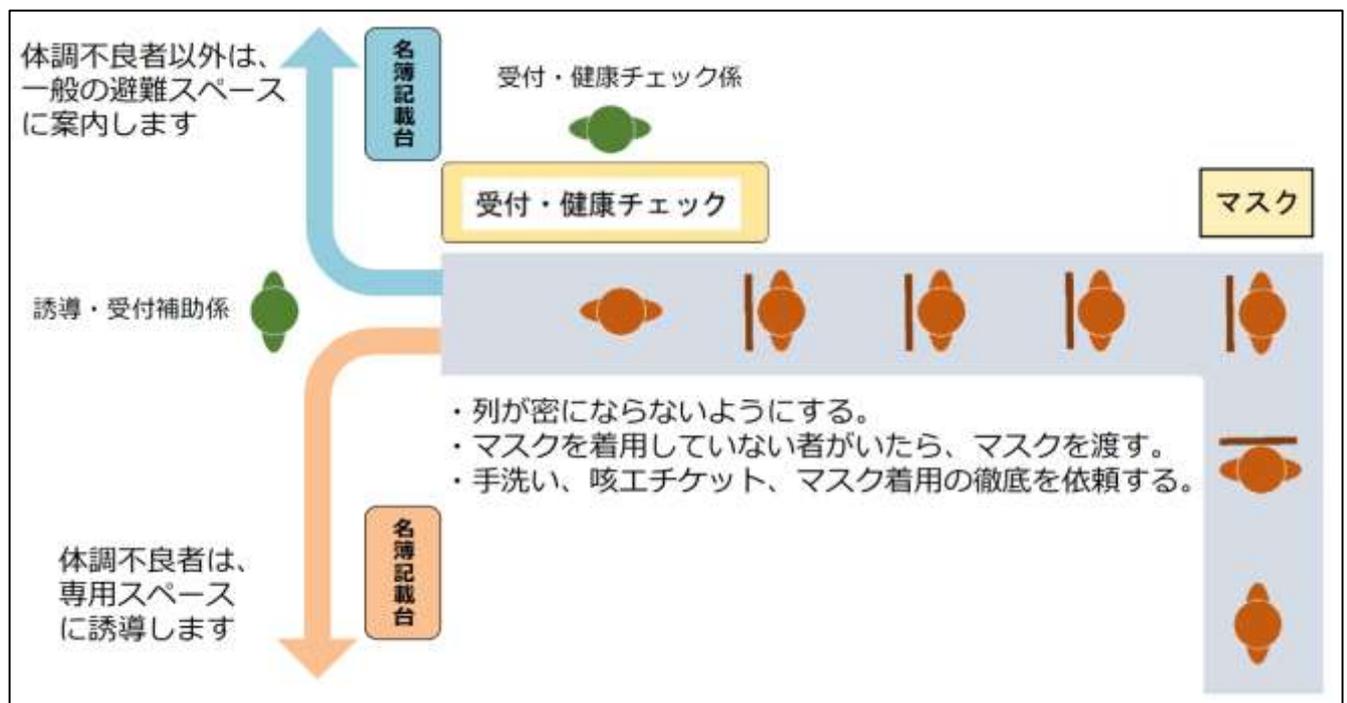
風水害などで、緊急避難場所として開設する場合と、大規模地震の発生などにより避難所として開設する場合には、避難者数や運営体制が大きく異なることが予想されます。緊急避難場所の場合、開設期間は概ね一晩、長くても1～2日程度で、避難者も比較的少人数が見込まれる一方、避難所の場合、開設期間の長期化や避難者数が増えることが見込まれます。

したがって、避難所運営班の職員だけで運営することは極めて困難です。避難者の状況に応じて、地域の自治組織（自治区、自主防災会）や施設管理者、避難者に協力を依頼しながら、全体のコントロールをお願いします。

1 避難者の受付場所の設置

- 下の図を参考に、避難スペースの出入口付近の屋外（軒下）に受付を設置する。

※地震発生時は、グラウンドなど建物から離れた場所に設置する。



- 避難者の列が、密接しないよう、養生テープを用いて1メートル（十分な広さがある場合は2メートル）程度の間隔でマーキングを行う。
- 受付用の机に体温計と消毒液を準備する。
- 避難者名簿の記載台を「一般用」と「体調不良者用」の2か所用意する。

- 受付と一般用の名簿記載台に「避難者名簿」（防災倉庫に 500 枚あり）を用意する。
- マスクは列の後方（目の届く範囲）に配置し、未着用の避難者に着用を促す。
- 受付前の手洗いを促す。
- 開設当初は、避難所運営班の 1 名が受付・健康チェックを、もう 1 名は誘導・受付補助を行う。

2 避難者の受付・健康チェックの実施

- 避難者が来たら世帯単位で受付を行う。
- 避難者に手指消毒を依頼する。
- 避難者の体温を計測する。
 - ・ 髪を手で掻き上げてもらい、額の中央辺りで計測する。
 - ・ 1～3センチほど離して計測する。
- 避難者の体調について聞き取りを行う。
 - ※聞き取り項目については、13 ページの『健康チェックリスト』を参照。
 - ※避難者のプライバシーやコロナハラスメント防止に配慮し、周りの避難者の状況などに応じて、チェックリストを掲示し、「該当する項目はありますか？」といった聞き方や指差しなどによる確認を心掛ける。
- 体調不良者とするか否かを判断する。
 - ※以下に該当する場合、体調不良者とする

- ・ **体温計測で発熱^{*}がある** または、
 - ・ **健康チェックリストのいずれかに該当する**

※ 37.5℃を目安に平熱の聞き取りなどにより総合的に判断する。

- 体調不良者に対しては、避難者名簿の裏面「避難所利用者詳細」の「特に配慮が必要なこと」欄に、計測した体温や聞き取った体調について受付で記入（14 ページの記入例参照）した上で、体調不良者用の避難者名簿記載台に案内する。
- 体調不良者としない避難者は、一般の避難者名簿記載台に案内する。

一般の避難者への対応

健康な方（新型コロナウイルス感染症の可能性が低いと見込まれる方含む）は一般の避難スペースに滞在してもらいます。ただし、一般の避難スペースと言っても、3密回避を徹底し、感染防止に最大限配慮します。

また、一般の避難者には、高齢者や障がい者等の要配慮者も含まれます。

1 避難者名簿の記入

- 一般の避難者用の記載台で、避難者名簿を記入してもらう。
※世帯単位で記入。

2 滞在場所の決定

- 3 ページの事前準備で作成した、避難スペースを区画分けしたものをもち、避難者（世帯）が滞在する場所（区画）を決める。
- 避難者名簿の「滞在を希望する場所」欄の「避難所」の後に（ ）を追記し、避難スペースの区画番号を記入する。(14 ページの記入例参照)
- 高齢者や障がい者など要配慮者は、予め確保した、要配慮者用スペースを割り当てる。
- 入口付近に掲示したレイアウト用紙を参考に移動してもらう。
※避難者が少なく手が空いている場合は、付き添って誘導する。
- 入室前に手洗いを促す。

3 健康管理

- 手洗い消毒や咳エチケットの徹底など、感染症予防の留意事項を伝える。
- 定期的（少なくとも1日1回）に、体温計測と健康チェックを実施する。
※体温計を持参している方は、自身での計測と申告を依頼する。
※食料の配給と合わせるなどして、順番に受付等に来てもらう。
- 5 ページの体調不良者の要件に該当した場合は、以降、体調不良者として取り扱う。
※滞在していた区画周辺は、消毒を行う。

体調不良者への対応

新型コロナウイルス感染症が疑われる症状のある避難者は、一般の避難者とは滞在場所や動線を区別します。ただし、感染者と決まったわけではないため、差別対応やコロナハラスメントにつながらないよう配慮が必要です。

1 避難者名簿の記入

- 体調不良者用の記載台で、受付で渡した避難者名簿を記入してもらう。
※世帯単位で記入。
※体調により自筆困難な場合は、聞き取り等により代筆する。
- 新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者及び明らかに体調が悪く新型コロナウイルス感染症が疑われる症状であった場合は、速やかに災害対策本部に連絡し指示を仰ぐ。
- 意識や呼吸が弱い場合等は、119番通報する。

2 滞在場所の決定

- 使用可能な教室等を示した避難所施設の見取図（各避難所に配付予定）を参考に、体調不良者を滞在させる専用スペースを決定する。
※専用スペースは世帯単位で割り当てる。
- 避難者名簿の「滞在を希望する場所」欄の「避難所」の後ろに（ ）を追記し、割り当てた専用スペースの部屋名（教室名等）を記入する。
（14ページの記入例参照）
- 決定した専用スペースに誘導する。
※なるべく密接状態とならないように誘導する。
- 入室前に手洗いを促す。
- トイレや手洗い場等についても一般の避難者と別に指定し案内する。

3 健康管理

- 手洗い消毒や咳エチケットの徹底など、感染症予防の留意事項を伝える。
- 定期的（1日3回程度）に、体温計測と健康チェックを実施する。
 - ※特に高齢者などの要配慮者は重症化しやすいため注意する。
 - ※体調チェックはなるべく配給のタイミング等と合わせる。
- 体温や体調の経過について、避難者名簿に記録を取っていく。
- 食事等の配給は、一般の避難者の動線と重ならない場所を指定して取りに来てもらうか、専用スペースの前まで持参する。
- 体調急変時の連絡方法を決めておく。
 - ※避難所施設や地区対策班の交流館の連絡先電話番号を伝える、携帯電話を所持していない場合、張り紙やカーテンを全開にするなど。
- 病状が悪化し、新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、災害対策本部に連絡する。
- 意識や呼吸がない場合等は、119番通報する。
- 体調不良者が増え、専用スペースが不足する場合は、ダンボール間仕切りやキャンプ用テントを使って専用スペースを確保する。
 - ※地区対策班にファックスでゾーニング用資機材の輸送を要請する。
- 保健師の巡回時に、健康状態についての情報提供や相談を行う。
- 保健師の指導に基づき、衛生環境の維持・改善に努める。

車中泊希望者への対応

新型コロナウイルス感染症への感染を心配して、車中泊避難を希望する避難者がいることが予想されます。他の避難者と同様に、受付と健康チェックを行ってください。エコノミークラス症候群対策など、車中泊をする上での注意点について呼びかけましょう。

1 避難者名簿の記入

- 希望する避難者が体調不良者であれば体調不良者用の記載台で、それ以外であれば一般用の記載台で避難者名簿を記入してもらう。(世帯単位)
- 体調不良者は、体温や病状等について、名簿裏面の「避難所利用者詳細」の「特に配慮が必要なこと」欄に記入する。(14 ページの記入例参照)

2 滞在場所（駐車スペース）の決定

- 避難者が少なければ、施設の駐車場で指定する。
※状況に応じて、駐車スペースが変更となる可能性がある旨を伝える。
- 避難所の施設管理者がいれば、グラウンド等への駐車について協議する。
- 避難者名簿の「滞在を希望する場所」欄の「□車両」の後ろに、割り当てた駐車スペースのなるべく詳しい位置と車のナンバーを記入する。

3 注意喚起

- 車中泊をする上での注意点について説明する。
 - ・エコノミークラス症候群対策をはじめ、体調管理に留意すること。
 - ・排気ガスによる健康被害を防ぐため、エンジンをかけたままにしない。
 - ・車内は、夏は非常に高温に、冬は非常に低温になるため、車内環境に気を付ける。
 - ・バッテリーが上がらないように気を付ける。
 - ・車を離れるときは車上狙いに遭わないよう、必ず施錠する。

避難スペースのレイアウトについて

密集・密接を避けるため、従来とは異なるレイアウトが必要です。

段ボール間仕切りや段ボールベッドなど、大型の資機材は当初から避難所に用意がないため、養生テープなどを活用したゾーニングが必要です。

1 避難スペースのゾーニング

- 15 ページの「避難スペースレイアウト案」を参考に、避難者（世帯）同士の間隔が2メートル以上空くように配置する。
※防災倉庫内にあるアルミござの長さが2メートルなので参考にする。
- 避難者が増えてきたら、適切に密集を回避するため、養生テープを貼ったり、マットレスやアルミござを配置するなどして分かりやすく示す。
※ただし、マットレスやアルミござは、高齢者や障がい者等の要配慮者に優先的に配付する。
- 避難者が増え、2メートルの距離の確保が困難になってきたら、ダンボール間仕切り等、ゾーニング用の資機材の活用や、他の避難所への誘導が必要となるため、災害対策本部に相談する。

2 ゾーニング用資機材の設営

- 段ボール間仕切りの組み立て方法は、16 ページを参照。
- ダンボールベッドの組み立て方法は、17 ページを参照。
- キャンプ用テントの組み立て方法は、18 ページを参照。

3 身近にあるものの活用

- 19 ページの「ダンボールを使ったパーテーションの作成方法」を参照。

4 良好な環境の確保

- 避難スペースの換気は、常時若しくはこまめ(1時間に2回程度)に行う。
- 施設にある備品（冷風扇等）を活用し、暑さ寒さ対策に努める。

消毒・清掃について

新型コロナウイルスは「接触」か「飛沫」により感染します。感染予防には、ウイルスを含む飛沫やウイルスの付着した手などが、目・鼻・口の粘膜と接触することを防ぐことが重要なポイントとなります。

1 こまめな消毒

- 受付時に避難者が使用した筆記用具、受付台等は使用毎に消毒を行う。
- 多数の者が触れる個所は、定期的（少なくとも1時間に1回程度）に、消毒を実施する。

2 消毒方法

- 必ず感染症対策用物品を着装したまま消毒を行う。
- 備蓄された次亜塩素酸消毒液入りの消毒液用ボトルを使用し、消毒する場所に噴霧し、アルコールティッシュ等で一方向へ拭き取る。
※備蓄している消毒液は、噴霧すると極めて短い時間で菌やウイルスを除菌する。
- 消毒に用いたティッシュ等は、すぐにゴミ袋に入れて密封する。
- 消毒後は必ず手を洗う。

3 施設内の消毒場所

- ドアノブ、手すり、照明のスイッチ、トイレのふた、椅子、机など
- 万一備蓄品以外の消毒剤を使用する場合は、製品に記載されている「使用上の注意」をよく読んでから使用する。

4 避難所閉鎖時の清掃と消毒について

- 消毒を始める前に、換気を継続しながらゴミやホコリを取る清掃を行う。
- 消毒方法は上記の2と同様に、消毒場所は上記の3に加えて避難スペースの床や壁などについても、可能な範囲で消毒を実施する。

避難スペース レイアウト様式

	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3						
4						

ステージ

- ①必要に応じて線を追加したり、スペースを塗りつぶして削除するなどしてください。
- ②縦列にアルファベットを、横列に数字を振って、ブロック分けします。

健康チェックリスト

- 強い味覚・嗅覚障害がある
- 強い息苦しさ(呼吸困難)の症状がある
- 強いだるさ（倦怠感）の症状がある
- ひどい咳など重い風邪の症状がある
- ひどい下痢や吐き気がある
- 新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者又は海外からの入国者であり、健康観察期間（2週間）を終了していない

両面印刷：避難生活が長期化する場合は裏面も記入（

表面

豊田市避難所運営マニュアル 様式集

ひなんしゃめいぼ
避難者名簿

避難所名		受付番号
記入日	年 月 日 () 時 分	避難種別
住所	自治区名【 () 】	自主避難 / 避難勧告・指示
電話	() -	<input type="checkbox"/> 避難所 (一般 A 2)
携帯電話	() -	<input type="checkbox"/> テント(避難所敷地内に設置)
避難所を利用する人 (避難所以外の場所に滞在する人も記入)		<input type="checkbox"/> 避難所 (図書室)
氏名	生年月日・年齢	性別
代表	明/大/昭/平/西暦	男
ふりがな	明/大/昭/平/西暦	男
緊急	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> けが	<input type="checkbox"/> 病気	<input type="checkbox"/> 高齢者
滞在を希望する場所	滞在を希望する場所	滞在を希望する場所
<input type="checkbox"/> 避難所	<input type="checkbox"/> テント(避難所敷地内に設置)	<input type="checkbox"/> 避難所
<input type="checkbox"/> テント(避難所敷地内に設置)	<input type="checkbox"/> 車両(避難所敷地内に駐車)	<input type="checkbox"/> テント(避難所敷地内に設置)
<input type="checkbox"/> 車両(避難所敷地内に駐車)	<input type="checkbox"/> 避難所以外の場所	<input type="checkbox"/> テント(避難所敷地内に設置)
<input type="checkbox"/> 避難所以外の場所	【自宅 / 他: ()】	<input type="checkbox"/> 車両(避難所敷地内に駐車)
		<input type="checkbox"/> 車両(避難所敷地内に駐車)
		<input type="checkbox"/> 避難所以外の場所
		【自宅 / 他: ()】

ひなんしゃめいぼ
避難者名簿

裏面

- ・避難生活が長期化することが予想される場合は、必ず記入してください。(1週間を目安)
- ・記入いただいた情報は、食糧や物資の配給、健康管理などの支援を行うため、避難所運営のために必要最低限の範囲で共有します。

ひなんしゃりようしゃじょうさい
避難所利用者詳細

	とくはいりよひつよう 特に配慮が必要なこと けが・病気・障がい・妊娠中・使用できる言語など	うんえいきょうりよく 運営に協力できること 特技・免許	食事制限 アレルギーの有無・粥 文化・宗教で食べられない物など
代表者	38.5度 息苦しさあり		
2			
3	37.6度		
4	強い倦怠感		
5			

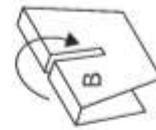
[避難者用 間仕切セット]

〈ジョイント部材組立手順〉

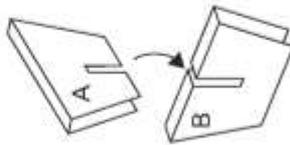
折れ線で折り曲げる。



〈図1〉



〈図2〉

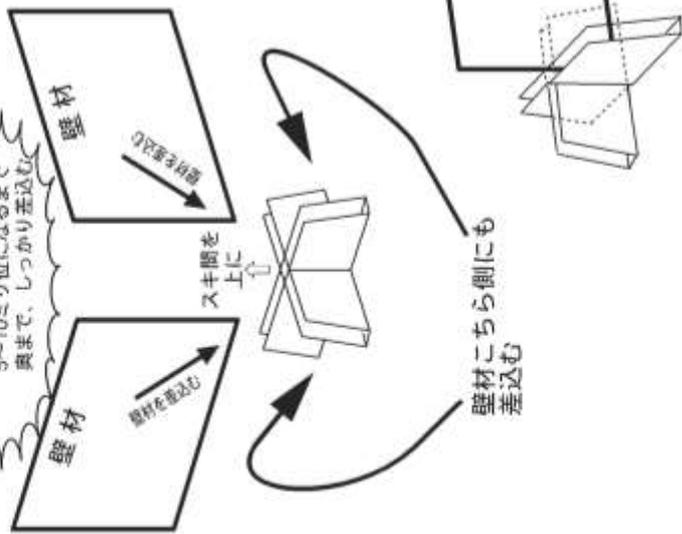


ジョイント下用は、〈図1〉、〈図2〉で組立てた物をすき間を上に向けて床に置き、〈図3〉の様に壁材を差し込む。

ジョイント上用は、〈図4〉の様にBで壁材をはさみながら、Aで同様に壁材をはさみながらBのミンに差し込む。

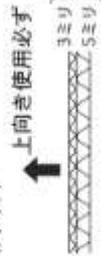
〈図3〉

（重要）パネルとパネルの間が5～10ミリ位になるまで奥まで、しっかり差し込む。



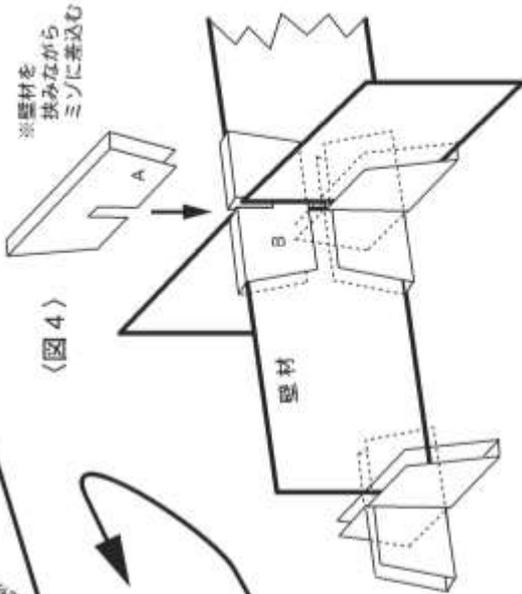
壁材こちら側にも差し込む

〈床材〉



↑ 上向き使用必ず
3ミリ } 8ミリ
5ミリ }

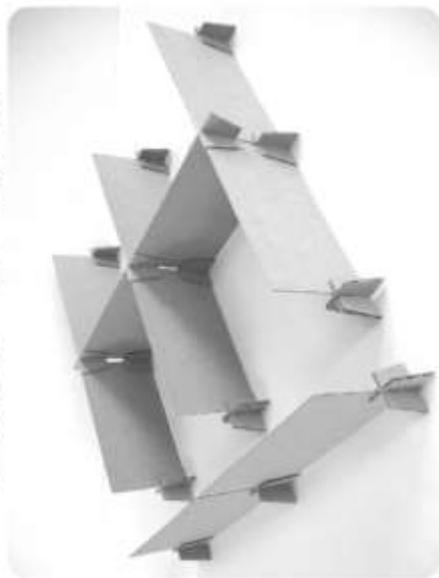
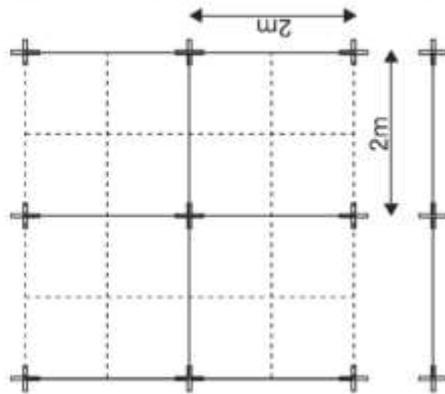
〈図4〉



※壁材を挟みながらミンに差し込む

避難者用間仕切セットと衝突との平面図及び立体写真
(区画数は参考)

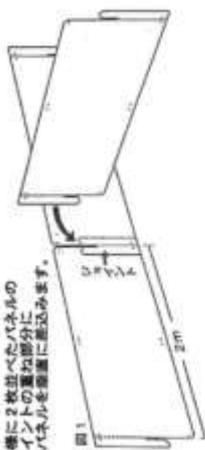
1区画 2m×2m×高さ1m



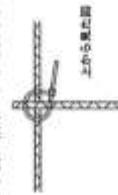
こちらのタイプ
もありません ⇒

基本パターン4㎡ (2人用) の部屋作り

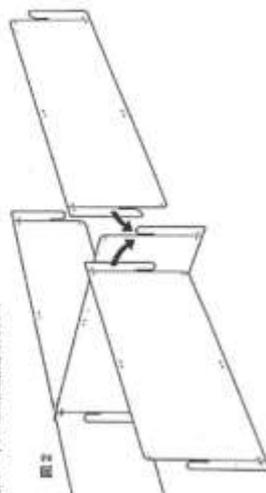
① 図の様に2枚並べたパネルのジョイントの重ね部分に別のパネルを正確に差し込みます。



② 組み終わらせ、結束バンドを掛けます。(上部のみでOK)



③ 更にパネルを2枚差し込みます。





1 台分の部材

組み立て方法

- 1 部材Bの溝に部材Aの溝をはめていく
- 2 部材Aと部材Bのベッド脚の上に載せる
- 3 ガムテープで固定し完成

構成部材

部材A	ベッド脚	950 × 360 × 4
部材B	ベッド脚	1,960 × 360 × 1
部材C	天板	1,960 × 950 × 1

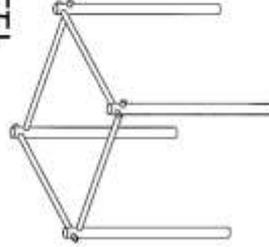
1

柱(穴のあいた太い紙管)に梁(細い紙管)を押し込む



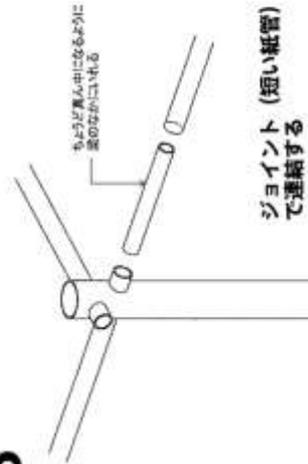
2

柱4本と梁4本で1ユニット=約2畳



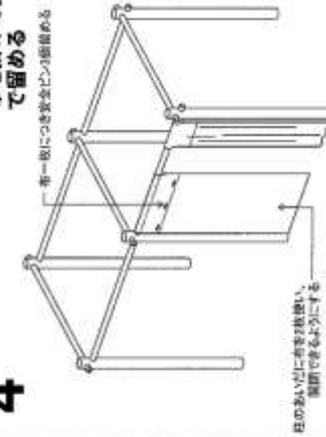
3

ジョイント(短い紙管)で連結する



4

布を掛けて安全ピンで留める



こちらのタイプもあります



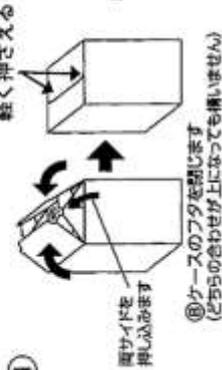
暖段はこベッド 組立説明書

■ 材料



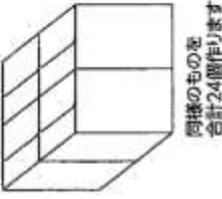
組み立て手順

①



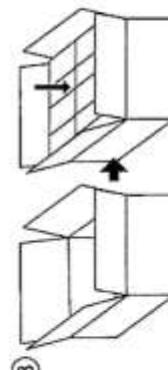
④ケースのフタを閉じます(どちらの合わせが上になっても構いません)

②



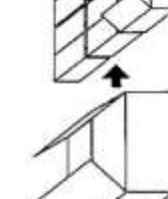
同様のものを合計24層作ります

③



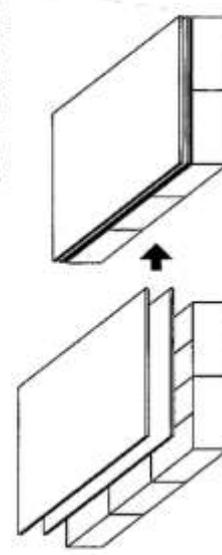
④フタ付口の手の悪いに①で作ったケースを4個入れます

④



同様のものを合計6セット作ります(ガムテープは必要ありません)

⑤



④で作った土台に⑥天板を2枚のせれば完成です

仕様表

サイズ	フライ:(約)335×420×H195cm インナーテント:(約)315×200×H185cm
重量	フライ・インナー:(約)8kg ポール:(約)8kg
素材	フライ:ルーフ=ナイロンOXF210D (PU1800mm防水) ウォール=ナイロン190T (PU防水) スカート=PEクロス インナーテント:ウォール=ナイロン190T (薄気性防水加工) グラントシート=PEクロス メッシュ=ポリエステルノーゼームメッシュ ポール:スチールφ19mm
パッキングサイズ	(約)105×20×20cm

△組立・収納時の注意

- ただんだ状態のポールを落としたり、ぶつけないように十分注意してください。ポール本体やジョイント部が損傷する原因になります。
- テントにポールやベグ等を落としたり、引っ掛けたりしないように十分注意してください。生地が損傷する原因になります。

〈組み立て順序〉

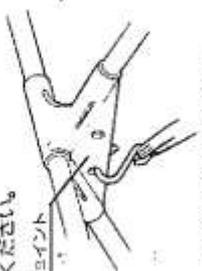
① フレームの組み立て方法

まず、極ポール・軒ポールの子エーン連結部をつなぎ、それぞれに勾配ポールをジョイントしてください。次に支柱ポールをそれぞれの軒ポールに差し込んでください。

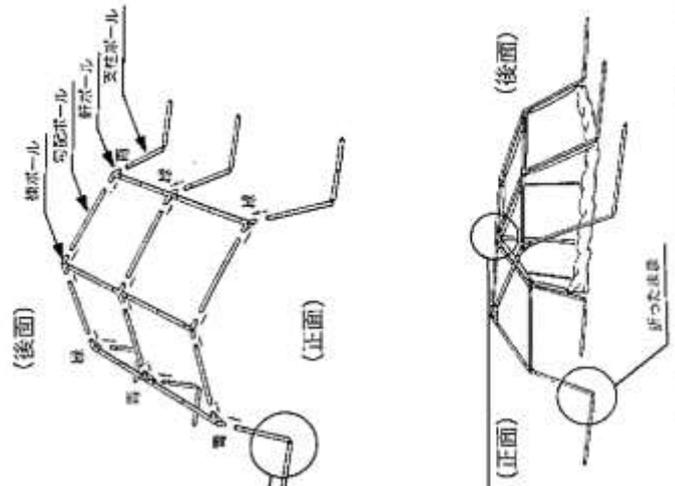
※注意 支柱ポールの子エーン連結部は折ったまま差し込んでください。

② インナーテントの取り付け

テント屋根後面のPCジョイントにSSカンを取り付けてください。



穴にSSカンを取り付けてください。
(穴は左右どちらでもよいです)



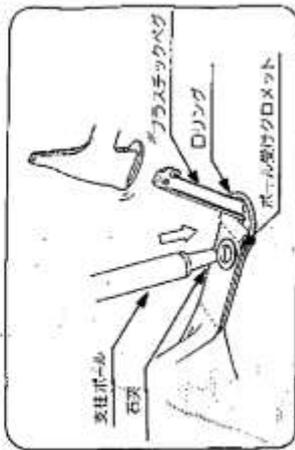
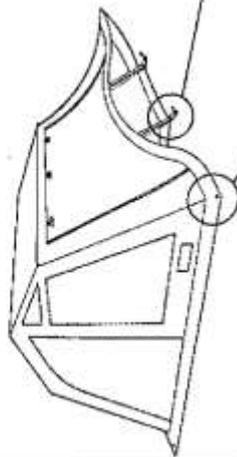
部品表

品目	数量	備考
フライ	1	
インナーテント	1	
極ポール	1	
軒ポール	2	右と左で区別
勾配ポール	6	
支柱ポール	6	
ひざし用ポール	2	
プラスチックベグ	16	
ガイドロープ(長)	2	
ガイドロープ(短)	2	
ハンマー	1	

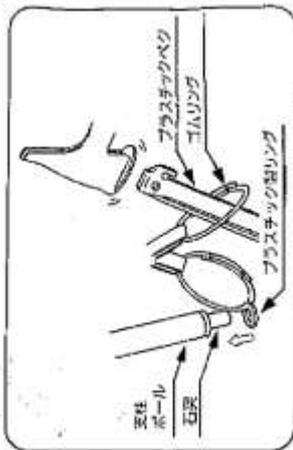
● 付属品/ポール収納袋1枚、ベグ収納袋1枚、フライ・インナー用キャリーバック1枚

③ フライの張り付け

フライを前後間違えないように仮はめてください。次に折りたたんでいた支柱ポールをすべて立ててください。

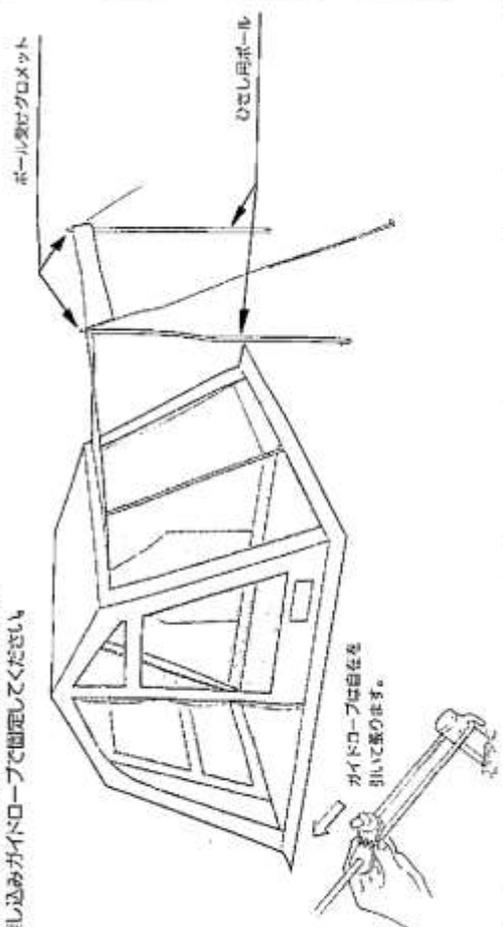


次に支柱ポールをインナーテントのポール受けクロメット、フライのプラスチック製リングに差し込みます。最後にフライのゴムリングをベグで固定して設置は完了です。



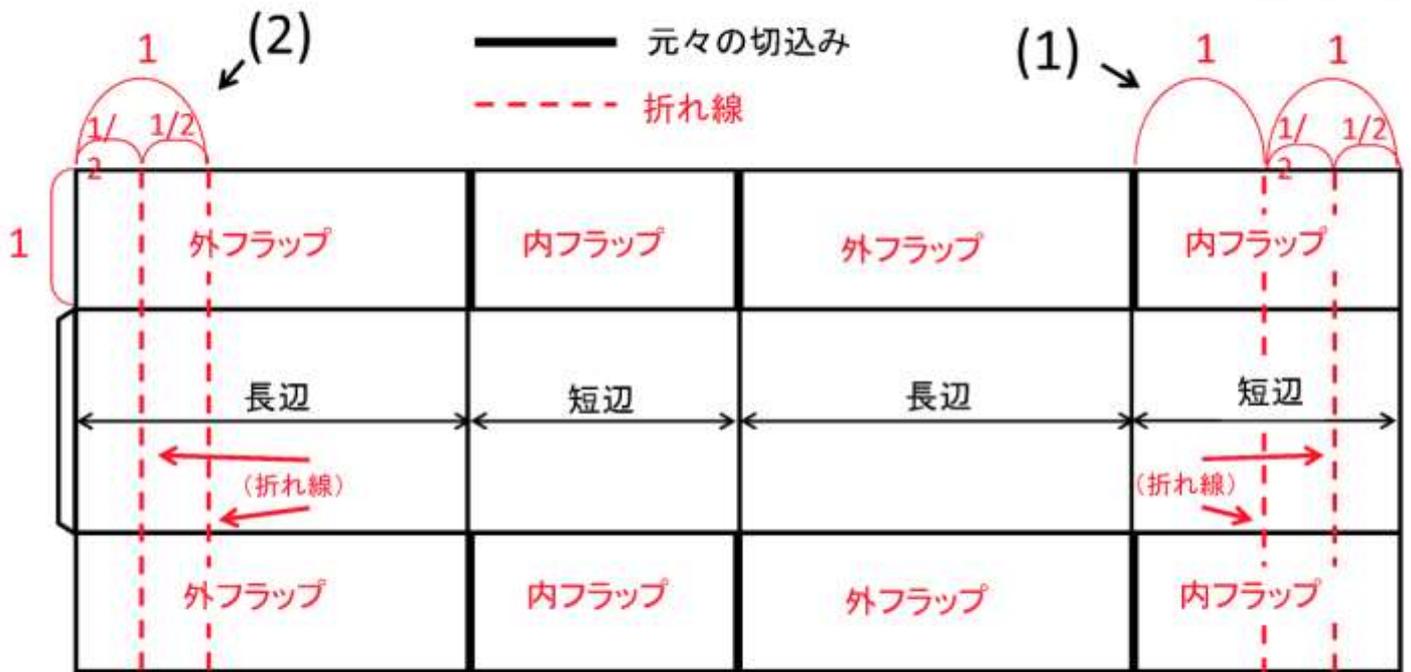
【大型ひざしを片面装備】

テント屋根部のクロメット穴にひざし用ポールを差し込みガイドロープで固定してください。

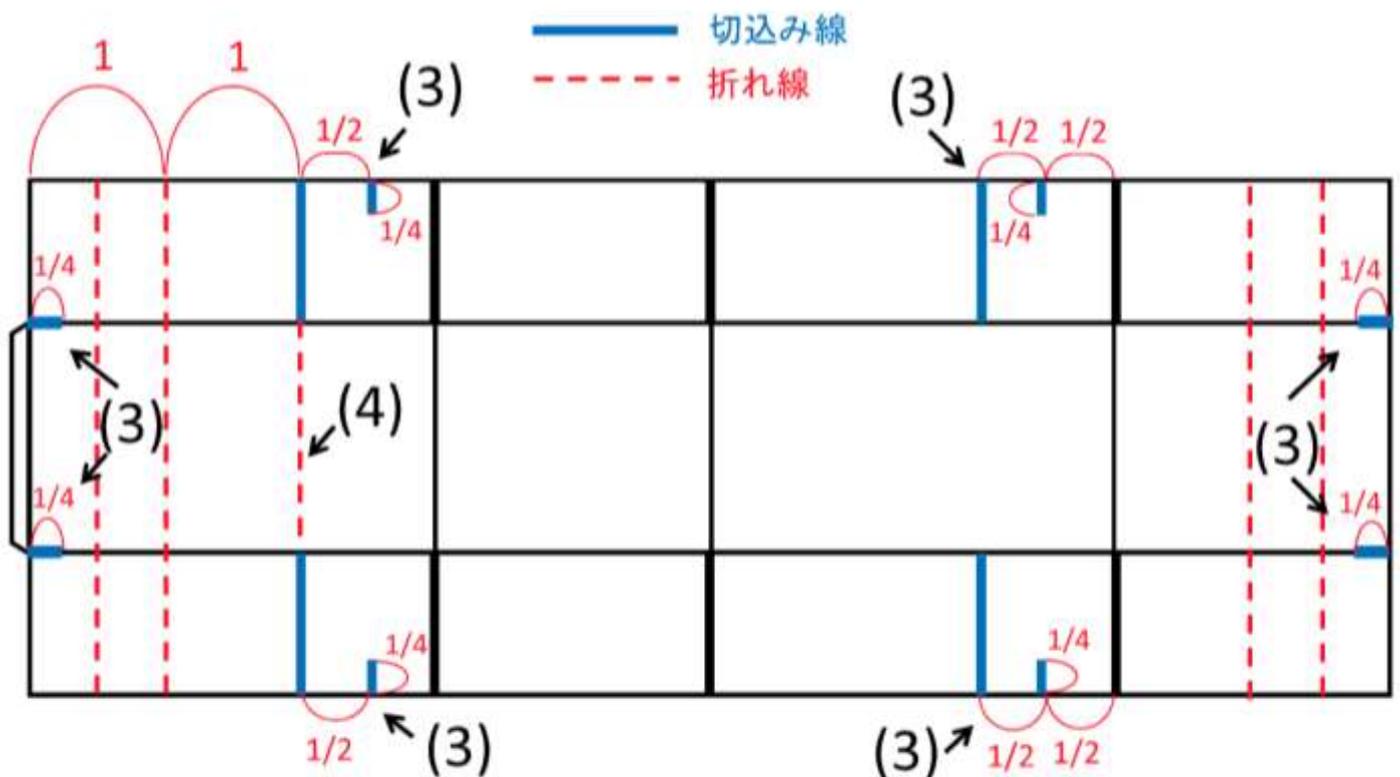


「六角式」間仕切りの作り方

2020.7.6 神奈川大学
工学部 経営工学科



- (1) 端になっている内フラップ(短辺の天地・ここでは右側)の長さを基準に、折れ線を2本入れる。
- (2) 反対側の端も、(1)と対称的に折れ線を2本入れる。



- (3) の青線の切込みを入れる(長4本、短8本)
- (4) の折れ線を入れる

「六角式」間仕切りの作り方

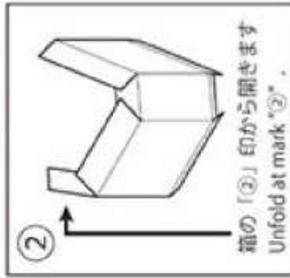
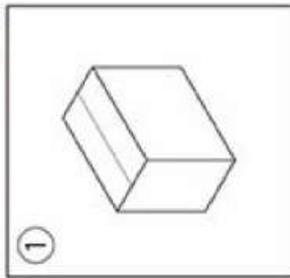
組立てる(下図の ④、⑤、⑥ の手順)

間仕切りの組立て方 (①～⑧) How to make a partition (①～⑧)

① この空き箱を

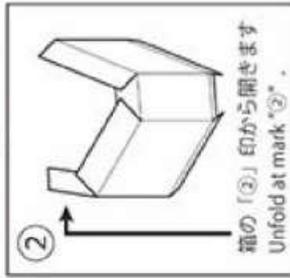
② 広げて

① Unfold the empty box and ② get it flat.



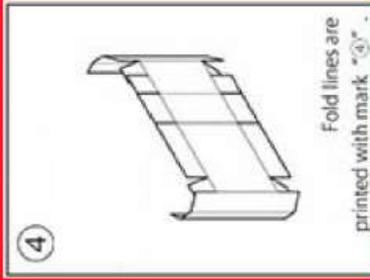
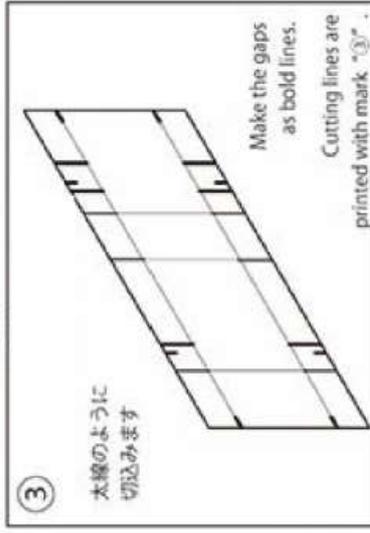
③ 平らにして切込みを入れる

③ Then make gaps.



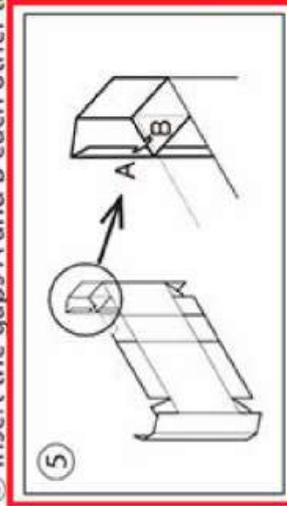
④ 点線に沿って折る。

④ Fold along the dotted lines.

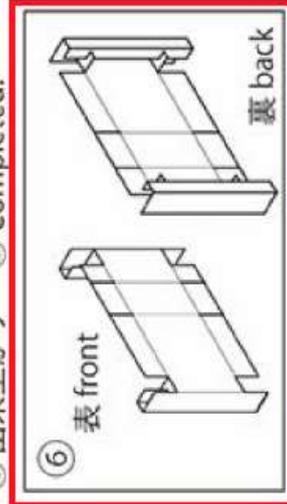


⑤ 切れ目 A, B 同士を差し込むと自立します。

⑤ Insert the gaps A and B each other then self-standing.

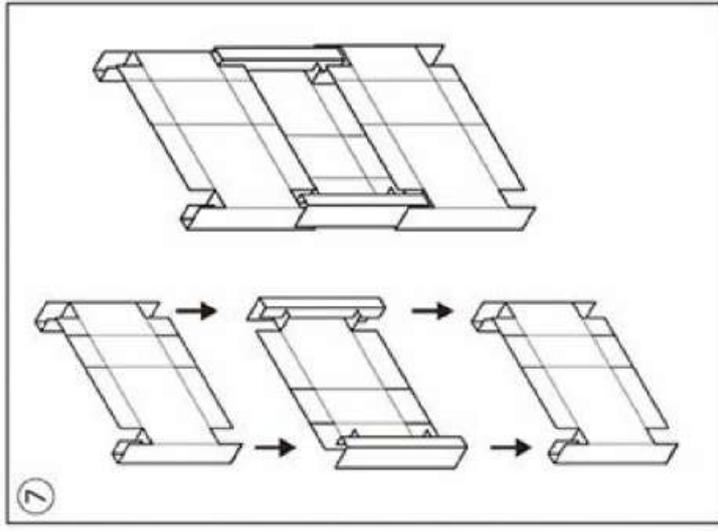


⑥ 出来上がり ⑥ Completed.



⑦ 互い違いに重ねガムテープなどで補強すれば高くすることができます。

⑦ The partitions can be stacked into higher one, stronger with duct tape etc., if you have.



【参考1 間仕切り(パーティション)の作り方・写真版】

神奈川大学工学部経営工学科 人間工学研究室(森研究室)2016

パーティションの作り方

★必要なもの★

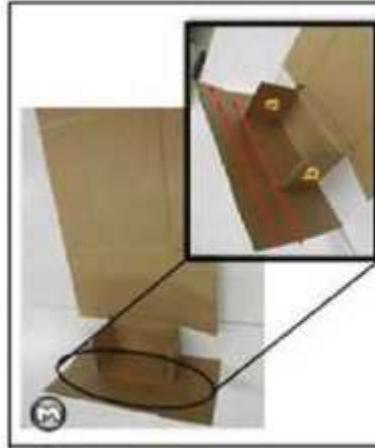
対象年齢 9才以上 段ボール1箱、カッター



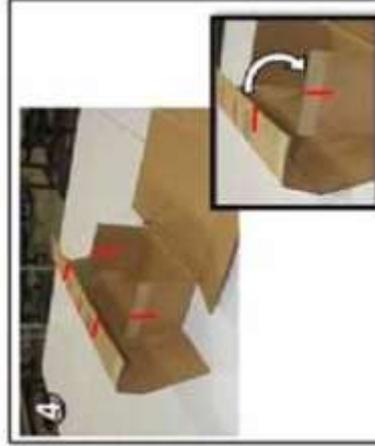
① フタの切れ目に沿って反対側に切込みを入れる。



② 白線部分を切り、段ボールを開く。a、bを立てる。



③ 柱を製作するために、点線部分を谷折りする。



④ 白線部に切込みを入れ、組み合わせる。



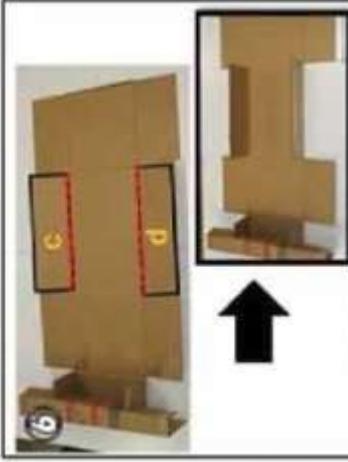
⑤ 片方の柱が完成。もう片側も製作する。



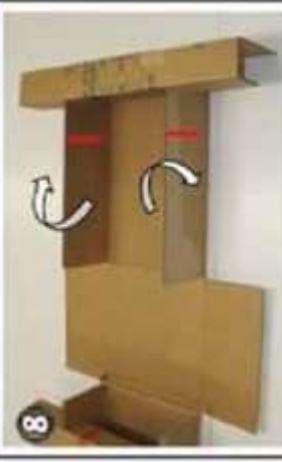
⑥ ③と同様に谷折りし、切込みを入れて組み合わせる。



⑦ 完成！！



⑧ c、dを立てる。



⑨ 白線部分を切り開く。



⑩ 重ねると壁になるよ！

【参考2 椅子の作り方】

椅子の作り方

神奈川大学 工学部 経営工学科

人間工学研究室

石井 経 隆 彦 中 山 和 隆

★ 必要なもの ★

段ボール箱 2つ、カッター



1 段ボール1箱を図の赤線部に沿って切断し、2つにする。



2 点線部を谷折りする。



3 もう1つの段ボールを箱に組み、斜めに差し込む。

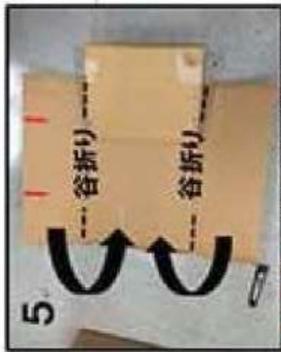


POINT!!

差し込んだ段ボールに、印をつけて折り目をつける。



4 前の工程でつけた印に沿って、折り目をつけて谷折りする。



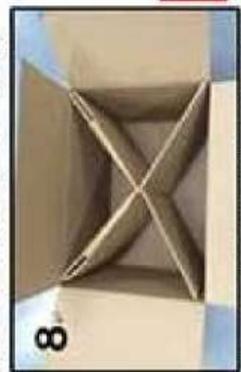
5 赤線部2か所に切込みを入れ、点線部2か所を谷折りする。



6 切込みに合わせて両側を組み、合わせると支えが1つ完成。



7 支えをもう1つ作り赤線部2か所に切込みを入れる。



8 2か所の切込みを組み合わせる



POINT!!

新聞紙や衣類を挟むとクッションになる!



9 段ボールのふたを閉めると完成!!

1 日程度の使用が可能です!

迷わず避難！



避難所を利用される方へ

おねがい

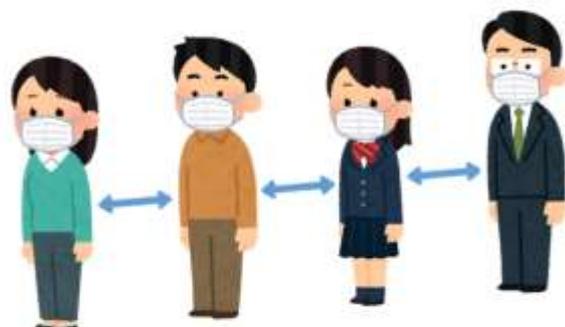
まずはじめに受付をすませましょう！



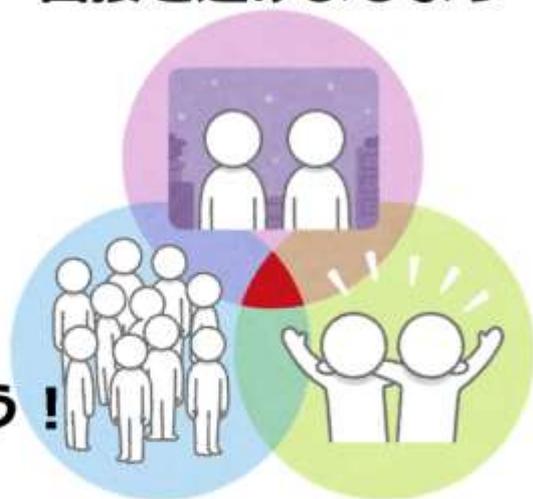
- ◎ マスクの着用をお願いします。
- ◎ 受付と入室の前には手洗いをお願いします。
- ◎ 手指の消毒・健康チェックへのご理解とご協力をお願いします。



避難所内では、密閉・密集・密接を避けましょう



人と人との距離は2mあげましょう！



❁ こんな症状がある人は…！

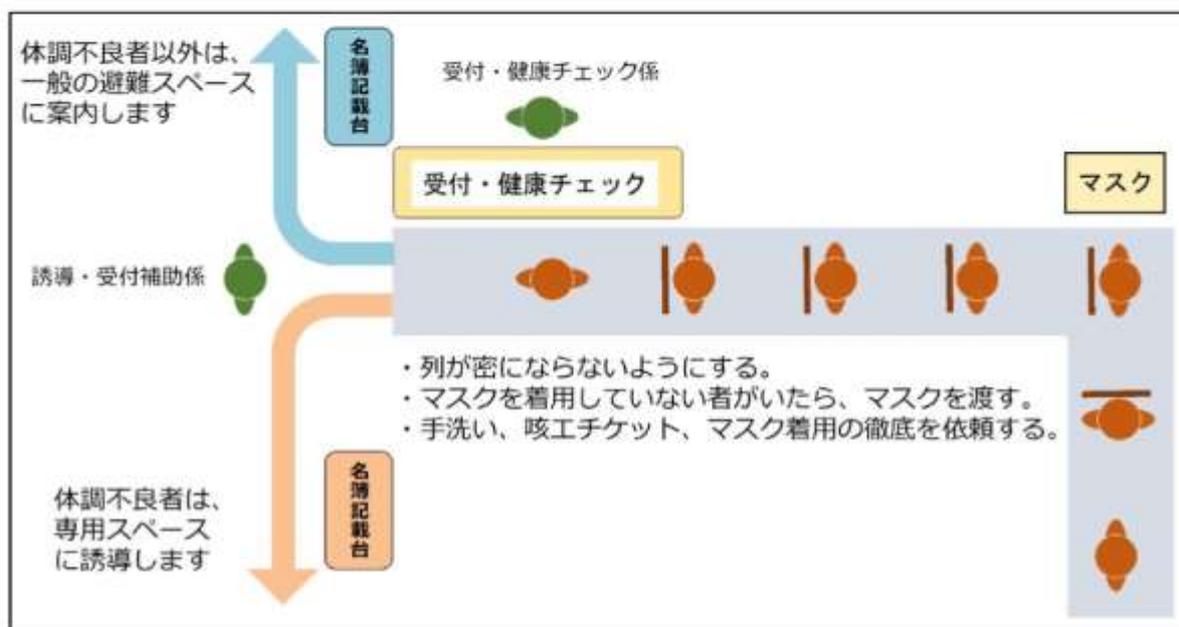
必ず、受付でスタッフにお知らせください。

発熱・咳・のどの痛み
強いだるさ（倦怠感）
息苦しさ（呼吸困難）



受付の流れ

- ◎ 受付前に手洗いと手指消毒をお願いします。
- ◎ 混雑している時は、距離を開けてお待ちください。
- ◎ 健康チェックと名簿記入後、滞在してもらおう場所までご案内します。



❁避難所で何が必要になる？ 確認してみましょう❁

マスク、体温計、除菌シート、ウェットティッシュ、オーラルケア用品（うがい薬等）などは、お持ちですか？

※避難所にも準備していますが、不足することが予想されます。

できるだけ、各自で用意しておく心安です。



避難所ではこんな心がけを

こまめに手洗い・うがいをしましょう
マスクの着用や咳エチケットを守りましょう
心身の健康の維持に努めましょう



手を洗おう



うがいをしよう



消毒しよう



換気しよう

❁心身の健康維持につとめましょう

- ・ 毎日本調チェックしましょう
- ・ 体調管理のために体操しよう



❁マスクも大切だけど

熱中症も気を付けて！まめに水分補給しよう

経口補水液
塩飴
スポーツドリンク などがおすすめ



❁体調が悪くなったら、すぐに申し出ましょう！

発熱・咳・のどの痛み
強いだるさ（倦怠感）
息苦しさ（呼吸困難）



豊田市避難所運営マニュアル（別冊）

新型コロナウイルス感染症流行下における避難所運営の手引

令和2年12月一部改訂

-
- 製作 豊田市地域振興部市民安全室防災対策課
 - 問合せ 豊田市地域振興部市民安全室防災対策課
〒471-8501
豊田市西町3丁目60番地
電話：0565-34-6750
FAX：0565-34-6048
E-mail：bousai@city.toyota.aichi.jp
-